

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

福山城築城400年～城のあるまち福のまちプロジェクト～

2 地域再生計画の作成主体の名称

福山市

3 地域再生計画の区域

福山市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

本市では、20代～30代の人口の転出超過が続いている。とりわけ、20代後半から30代前半の転入数が減少傾向にあり、市外から生産年齢人口を呼び込む力が低下している。また、福山のみならず、備後圏域の玄関口である福山駅周辺の流動客数は、2008年の調査から10年で85%程度に落ち込んでいる。

その駅前に位置し、日本一駅から天守閣が近い城として知られている福山城は、2022年に築城400年を迎える。これを契機に、福山城をはじめとした歴史・文化資源を核とした地域活性化をめざし、福山城の歴史、城を中心に発展してきた都市や先人の歩みを振り返る、築城400年記念事業に取り組んでいるところである。

福山城は、1619年に水野勝成が西国鎮護のため入封し、3年の歳月をかけて築城された。福山藩10万石の城としては破格の規模で築かれ、天守閣のほかに、多数の三重櫓が周囲を固める威容を誇っている。これは西国に居並ぶ有力外様大名に対する幕府の監察官として、威厳を示すためのものであった。そのたたずまいは、住民に強い一体感と結束力を与え、藩主水野勝成のカリスマ性ともあいまって、福山における文化の揺籃を支えた。

福山城の天守閣は1945年の空襲で消失したが、1966年に市民の寄附などにより現在の形に再建され、今も市の象徴となっている。この築城400年を機会

に、歴史・文化資源等の価値を再認識し、市民の誇りとして磨き上げるなかで福山駅と一体となった福山城の空間全体の魅力を向上することができる。

また、歴代藩主によって奨励された能や書道、茶道などの文化は、市民生活に深く根付いており、地域の産業振興のため奨励された、い草や綿花の栽培は、畳表や備後緋といった名産品として地域を支えてきた。今も、400年の年月により培われてきた備後緋の技術や知識は、繊維産業へと受け継がれ、中でもデニムは地域を代表する産品として国内外から高い評価を受けている。

4-2 地域の課題

4-1に記載のとおり、本市の玄関口である福山駅周辺の流動客数の減少と若者の転出による人口減少が進んでいる。また、以前は商業の中心として賑わっていた駅前から、買い物や余暇を楽しむ場の減少も進んでいる。

将来的にもこうした状況が続くと、本市の魅力や活力が失われ、ひいては地域経済の衰退が危惧される。

4-3 目標

【概要】

4-2に記載した課題に対応するため、福山城をはじめとした歴史・文化資源が、幅広い世代が楽しめる魅力の高い観光資源となるように、福山城やその周辺を整備して価値の向上や魅力発信に取り組む。また、福山城を中心とした歴史・文化に関連する講演会の開催や、福山城及び周辺文化施設での企画展を実施する。

福山城築城400年という歴史・文化資源を再認識する機会に、これらハードとソフトの両事業を一体的に実施することで、観光客数をはじめとした交流人口の拡大、ひいては地域経済の活性化を目標とする。

【数値目標】

K P I	総観光客数	福山市文化ゾーン の来場者数	基準年月
申請時	725万人	410千人	2018年3月
2019年度	750万人	415千人	2020年3月
2020年度	775万人	416千人	2021年3月
2021年度	800万人	417千人	2022年3月
2022年度	825万人	437千人	2023年3月

※福山市文化ゾーン・・・福山城及び周辺文化施設

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

福山城築城400年～城のあるまち福のまちプロジェクト～

② 事業区分

まちづくり（コンパクトシティなど）

③ 事業の内容

【事業の概要】

本計画は次の柱に基づいて事業を進める。

なお、事業に要する経費の一部は「福山城築城400年記念基金」に積み立てるものとする。

- 福山城顕彰事業

福山城及び周辺の整備などを行う。史跡福山城の保存整備、博物館の

展示整備, 公園整備及び周辺道路整備などを通して, 福山城の価値向上, 魅力発信を行う。

○市民企画事業

市民団体が事業を企画・実施する。市民が自主的に行う企画事業を募集し, 築城 400 年記念事業として位置づけ, 上記事業を補完し, 支える。

【年度ごとの事業の内容】 (2019 年度まで)

(2019 年度)

- ・ 築城 400 年に向けた福山城博物館の展示改修設計他, 福山城の整備
- ・ 福山城周辺の公園整備など, 景観の整備
- ・ 市民主体の企画事業の支援

④ 地方版総合戦略における位置付け

福山市総合戦略において以下の項目・目標を掲げている。

- 歴史・文化・芸術を大切に継承し, 市民の誇りが醸成され, 心豊かで多様性のあるまち

歴史・文化・芸術に誇りを感じる人の割合 34.0% (2020) →49.0% (2025)

文化施設等の利用者数 550 千人 (2019) →707 千人 (2025)

本プロジェクトでは, 市民の愛着と誇りを醸成し, 主体的にまちづくり参加する市民を増加させるとともに, 歴史・文化資源を活用したまちづくりにより, 観光価値を高めるものであり, これらの目標の達成に直接寄与するものである。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標 (K P I))

K P I	総観光客数	福山市文化ゾーン の来場者数	基準年月
申請時	725万人	410千人	2018年3月
2019年度	750万人	415千人	2020年3月

2020年度	775万人	416千人	2021年3月
2021年度	800万人	417千人	2022年3月
2022年度	825万人	437千人	2023年3月

⑥ 事業費（2019年度まで）

（単位：千円）

事業費の額	
2019年度	計
122,134	122,134

⑦ 申請時点での寄附の見込み

（単位：千円）

寄附法人名	寄附の見込額	
	2019年度	計
製造業	8,000	8,000
製造業	1,000	1,000
保険業	100	100
その他	900	900
計	10,000	10,000

⑧ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

【評価の手法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を企画政策課が取りまとめる。
外部有識者を含めた委員会（総合戦略推進懇話会）において、KPIの実績に基づき評価を受け、事業を見直す。

【評価の時期及び内容】

毎年度7月頃に外部有識者（福山市総合戦略推進懇話会）による効果

検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

【公表の方法】

福山市ホームページ，市広報等において公表する。

⑨ 事業実施期間

2019年4月から2023年3月まで

⑩ 寄附の金額の目安

(単位：億円)

	2020年度	2021年度	2022年度	計
寄附の金額の目安	0.1	0.1	0.1	0.3

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2023年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑧に掲げる【評価の手法】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-3の目標について、5-2の⑧に掲げる【評価の時期及び内容】に同じ。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑧に掲げる【公表の方法】に同じ。